

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013111 - 0031

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2020年4月24日		(金)	10:30	承認	審査	作成			
	作業件名	1F TP8. 5m盤フェーシング工事									
	発生場所	1～4号機周辺					2020/4/10	2020/4/10	2020/4/10		
	作業主管G	土木水対策設備グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2020/4/2	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-277			
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	1	コンクリートガラ		B	02	D	B	1.5 m <sup>2</sup>	50 μSv/h	50 μSv/h	無
2							m <sup>2</sup>				
3							m <sup>2</sup>				
4							m <sup>2</sup>				
5							m <sup>2</sup>				
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	04	—	0309
				2020/4/13
調整後保管日時		2020年4月24日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年4月24日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-189	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2020/4/24 9:35	2 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010505 - 0004

作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年4月23日		(木)	10:30	承認	審査	作成		
	作業件名	貯蔵品管理業務								
	発生場所	スラッジ機材保管用仮設倉庫					2020/4/22	2020/4/21	2020/4/21	
	作業主管G	資材グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2020/3/3	測定者		測定器名	ICW	管理番号	リーICW-160		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	1	金属ガラ	B	01	D	A	5 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
2	木材	A	03	D	A	2 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
3	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	A	0.5 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
4	紙・ウエス類	A	01	D	A	0.5 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
5						m <sup>2</sup>				

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	04	—	0310
				2020/4/22
調整後保管日時		2020年4月23日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年4月23日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-189	
2		ICW	F1-ICW-393	
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/23 10:50	5 m <sup>2</sup>			1
	2	1	木材④	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/23 10:30	2 m <sup>2</sup>			2
	3	1	プラスチック・ポリ・ビニール類④	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/23 10:30	1.3 m <sup>2</sup>			2
	4	1	紙・ウエス類④	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/23 10:30	1.5 m <sup>2</sup>			2
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。  
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013107 - 0056

作業 主 管 欄	保管希望日時	2020年4月24日		(金)	8:00	承認	審査	作成		
	作業件名	汐見坂道路改良工事								
	発生場所	事務本館駐車場(仮置きエリア)					2020/4/10	2020/4/10	2020/4/10	
	作業主管G	土木基盤設備グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2020/4/9	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-221		
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	コンクリートガラ	B	02	W	B	4 m <sup>3</sup>	6 $\mu$ Sv/h	30 $\mu$ Sv/h	無
2						m <sup>3</sup>				
3						m <sup>3</sup>				
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				

注:  $\alpha$  有、 $\beta \alpha$  有の場合、 $\alpha$  線量情報をここに記載のこと。  
3tダンプ×2台

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	-	04	-	0311
				2020/4/13
調整後保管日時		2020年4月24日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年4月24日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-189	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ①	5	$\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h		エリアC	2020/4/24 8:05	4 m <sup>3</sup>			1
										m <sup>3</sup>			
										m <sup>3</sup>			
										m <sup>3</sup>			
										m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013107 - 0056

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2020年4月24日		(金)	9:00	承認	審査	作成	
	作業件名	汐見坂道路改良工事							
	発生場所	事務本館駐車場(仮置きエリア)					2020/4/10	2020/4/10	2020/4/10
	作業主管G	土木基盤設備グループ			監理員	TEL			
	元請会社				担当者	TEL			
	線量測定年月日	2020/4/9	測定者			測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-221
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率
		①	②	③					
	1	コンクリートガラ			4 m <sup>3</sup>	6 μSv/h	30 μSv/h	無	
	2				m <sup>3</sup>				
	3				m <sup>3</sup>				
	4				m <sup>3</sup>				
	5				m <sup>3</sup>				
メ モ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 3tダンプ×2台								

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	04	—	0312
				2020/4/13
調整後保管日時		2020年4月24日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年4月24日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-189
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアG	2020/4/24 8:50	4 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ												
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013107 - 0056

作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年4月24日		(金)	10:30	承認	審査	作成		
	作業件名	汐見坂道路改良工事								
	発生場所	事務本館駐車場(仮置きエリア)				2020/4/10	2020/4/10	2020/4/10		
	作業主管G	土木基盤設備グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2020/4/9	測定者		測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-221	
G 記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
	1	コンクリートガラ	B	02	W	B	4 m <sup>3</sup>	6 μSv/h	30 μSv/h	無
	2						m <sup>3</sup>			
	3						m <sup>3</sup>			
	4						m <sup>3</sup>			
5						m <sup>3</sup>				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 3tダンプ×2台										

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	04	—	0313
				2020/4/13
調整後保管日時		2020年4月24日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年4月24日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-189	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ ①	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアC	2020/4/24 10:20	2 m <sup>3</sup>			1
	1	2	コンクリートガラ ①①	5 μSv/h	20 μSv/h		エリアC	2020/4/24 10:20	2.5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」・B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012321 - 0008

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年4月24日		(金)	9:30	承認	審査	作成		
	作業・件名	1F フランジタンク除染・保管委託								
	発生場所	大型機器点検建屋					2020/4/10	2020/4/10	2020/4/10	
	作業主管G	運用支援グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2020/4/10	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-67	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	A	1 m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	2	木材類	A	03	D	A	2 m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	3	可燃物その他	A	04	D	A	1 m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	4						m <sup>3</sup>			
	5						m <sup>3</sup>			
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	04	—	0315
				2020/4/13
調整後保管日時		2020年4月24日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年4月24日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック・ポリ・ビニール類 ④	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/24 9:30	0.8 m <sup>3</sup>			1
	2	1	木材類 ④	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/24 9:30	1 m <sup>3</sup>			1
	3	1	可燃物その他 ④	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/24 9:30	0.2 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。  
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012908 - 0033

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年4月24日		(金)	11:00	承認	審査	作成		
	作業件名	1F 通信機械室不要設備撤去								
	発生場所	増設雑固体付近					2020/4/13	2020/4/13	2020/4/13	
	作業主管G	通信システムグループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2020/4/10	測定者		測定器名	電離箱サーバイメータ	管理番号	F1-ICWBL-137		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
	1	金属ガラ	B	01	D	A	0.5 m <sup>3</sup>	5 μSv/h	10 μSv/h	無
	2	ケーブル類	B	08	D	B	1 m <sup>3</sup>	5 μSv/h	10 μSv/h	無
	3	紙・ウエス類	A	01	D	B	1 m <sup>3</sup>	5 μSv/h	10 μSv/h	無
	4	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	0.5 m <sup>3</sup>	5 μSv/h	10 μSv/h	無
	5	機器類・制御盤類	B	03	D	A	1 m <sup>3</sup>	5 μSv/h	10 μSv/h	無
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	04	—	0316
				2020/4/13
調整後保管日時		2020年4月24日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年4月24日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2		ICW	F1-ICW-393
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	金属ガラ②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/24 10:50	0.5 m <sup>3</sup>			1
	2	1	ケーブル類②	5 μSv/h	5 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/24 10:50	0.5 m <sup>3</sup>			1
	3	1	紙・ウエス類④	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/24 11:00	0.2 m <sup>3</sup>			2
	4	1	プラスチック・ポリ・ビニール類④	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/24 11:00	0.3 m <sup>3</sup>			2
	4	2	プラスチック・ポリ・ビニール類(→H)④	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/24 11:00	1 m <sup>3</sup>			2

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。  
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

## 瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主管 G 記入欄	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
			①	②	③									
	6					m								
	7					m								
	8					m								
	9					m								
	10					m								

固体廃棄物G記入欄					
受付番号	廃2020	—	04	—	0316

[illegible]

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012320 - 0002

作業 主 管 入 欄	保管希望日時	2020年4月22日		(水)	10:00	承認	審査	作成
	作業件名	1F使用済保護衣等分別・減容・保管業務委託						
	発生場所	測定建屋集積分					2020/4/13	2020/4/13
	作業主管G	固体廃棄物グループ			監理員	TEL		
	元請会社				担当者	TEL		
G 記 入 欄	線量測定年月日	2020/4/10		測定者		測定器名	β・γ線量測定器	
							管理番号 F1-ICWBL-136	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無
		①	②	③				β+γ 線量率
	1	重汚染保護衣等(難燃物含む)	A	04	D	B	20 m <sup>2</sup>	5 μSv/h
メ モ	2					m <sup>2</sup>		
	3					m <sup>2</sup>		
	4					m <sup>2</sup>		
	5					m <sup>2</sup>		
	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。							

固体廃棄物G記入欄				受付
受付番号				
廃2020	—	04	—	0327
				2020/4/13
調整後保管日時		2020年4月22日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年4月22日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	重汚染保護衣等(難燃物含む) ⑤	5 μSv/h	10 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/22 9:50	20 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013212 - 0007

作業主管理	保管希望日時	2020年4月21日		(火)	11:00	承認	審査	作成		
	作業件名	1F-3号機R/B北東部他雨水対策工事								
	発生場所	3号機T/B(GJ-24)					2020/4/14	2020/4/14	2020/4/14	
	作業主管G	建築設備建設グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
G記入欄	線量測定年月日	2020/4/9	測定者		測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-51	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	紙・ウェス類	A	01	D	A	5 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.08 mSv/h	無
	2						m <sup>2</sup>			
メ	3					m <sup>2</sup>				
	4					m <sup>2</sup>				
	5					m <sup>2</sup>				
モ	注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	04	—	0336
				2020/4/14
調整後保管日時		2020年4月21日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年4月21日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウェス類 ④	2 $\mu$ Sv/h	20 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/21 11:00	2.7 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ	
モ	

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0021

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年4月23日		(木)	10:00	承認	審査	作成
	作業件名	G4エリアタンクリプレイス関連工事						
	発生場所	G6エリア					2020/4/14	2020/4/14
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL	
	元請会社				担当者		TEL	
	線量測定年月日	2020/4/3	測定者		測定器名	F1-ICW	管理番号	223
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無
		①	②	③				$\beta + \gamma$ 線量率
	1	木材類	A 03	D B	3 m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	2	可燃物その他	A 04	D B	1 m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	3				m <sup>3</sup>			
	4				m <sup>3</sup>			
	5				m <sup>3</sup>			
	注: $\alpha$ 有、 $\beta$ $\alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。 マップ記号T-22( 企業棟脇)にて保管。							

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	04	—	0339
				2020/4/14
調整後保管日時		2020年4月23日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年4月23日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	木材類 ④	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/23 10:00	3 m <sup>3</sup>			1
	2	1	可燃物その他 ④	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/23 10:00	1 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0021

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2020年4月23日		(木)	10:00		承認	審査	作成		
	作業件名	G4エリアタンクリプレイス関連工事									
	発生場所	G6エリア						2020/4/14	2020/4/14	2020/4/14	
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2020/4/3		測定者			測定器名	F1-ICW		管理番号	223
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率		$\beta$ ・ $\alpha$ 汚染の有無	$\beta$ + $\gamma$ 線量率
		①	②	③							
	1	紙・ウエス類	A	01	D	B	2 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
	2	ビニール・プラ類	A	02	D	B	3 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
	3						m <sup>2</sup>				
	4						m <sup>2</sup>				
	5						m <sup>2</sup>				
メモ	注: $\alpha$ 有、 $\beta$ $\alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。 マップ記号T-22(企業棟脇)にて保管。										

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	04	—	0340
				2020/4/14
調整後保管日時		2020年4月23日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年4月23日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ + $\gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類 ④	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/23 10:00	1 m <sup>2</sup>			1
	2	1	ビニール・プラ類 ④	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/23 10:00	2.2 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
メモ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
	②	C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	D	伐採木	状態		履歴		A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					
				D:乾燥, W:湿気有									

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta$  +  $\gamma$  線量率欄に「 $\beta$  +  $\gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta$  +  $\gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作 業 主 管 メ モ	保管希望日時	2020年4月20日	(月)	8:00	承認	審査	作成
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務					
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)			2020/4/14	2020/4/14	2020/4/14
	作業主管G	総務グループ		監理員	TEL		
	元請会社		担当者	TEL			
G	線量測定年月日	2020/4/14	測定者		測定器名	F1-ICWBL	管理番号
記 入 欄	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率
		①	②	③			$\beta + \gamma$ 線量率
	1	ダンボール	A 01	D A	5 m <sup>3</sup>	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h 無
	2				m <sup>3</sup>		
	3				m <sup>3</sup>		
	4				m <sup>3</sup>		
メ モ	注: $\alpha$ 有、 $\beta + \gamma$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。持込み分 委託追加仕書による 保管日時変更の場合4/27以外希						

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	04	—	0341
調整後保管日時				2020年4月20日 8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年4月20日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-393	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ダンボール ④	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアPI(屋外)	2020/4/20 8:00	3.6 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—		
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—		
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類		
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—		
				D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2020年4月21日		(火)	8:00	承認	審査	作成			
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務									
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)					2020/4/14	2020/4/14	2020/4/14		
	作業主管G	総務グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2020/4/14	測定者		測定器名	F1-ICWBL	管理番号	14			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率		
	1	ペットボトル	A	02	D	A	3 m <sup>3</sup>	5 μSv/h	5 μSv/h	無	
	2	紙	A	01	D	A	1 m <sup>3</sup>	5 μSv/h	5 μSv/h	無	
	3	たばこ	A	04	D	A	1 m <sup>3</sup>	5 μSv/h	5 μSv/h	無	
4						m <sup>3</sup>					
5						m <sup>3</sup>					
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。持込み分 委託追加仕様書による 保管日時変更の場合4/27以外希望										

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	04	—	0342
				2020/4/15
調整後保管日時		2020年4月21日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年4月21日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-393	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ペットボトル ④	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/21 8:00	3 m <sup>3</sup>			1
	2	1	紙 ④	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/21 8:00	0.8 m <sup>3</sup>			1
	3	1	たばこ ④	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/21 8:00	0.9 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。  
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2020年4月21日		(火)	9:00	承認	審査	作成	
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務							
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)					2020/4/14	2020/4/14	
	作業主管G	総務グループ			監理員	TEL			
	元請会社				担当者	TEL			
	線量測定年月日	2020/4/14	測定者		測定器名	F1-ICWBL	管理番号	14	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
	1	ペットボトル	A 02	D A	5 m <sup>3</sup>	5 μSv/h	5 μSv/h	無	
	2				m <sup>3</sup>				
	3				m <sup>3</sup>				
4				m <sup>3</sup>					
5				m <sup>3</sup>					
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。持込み分 委託追加仕様書による 保管日時変更の場合4/27以外希望								

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	04	—	0343
				2020/4/15
調整後保管日時		2020年4月21日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年4月21日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-393	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ペットボトル ④	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/21 9:00	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業 主 管 欄 メモ	保管希望日時	2020年4月22日	(水)	9:30	承認	審査	作成		
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務							
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)			2020/4/14	2020/4/14	2020/4/14		
	作業主管G	総務グループ		監理員	TEL				
	元請会社		担当者	TEL					
	線量測定年月日	2020/4/14	測定者		測定器名	F1-ICWBL	管理番号		
							14		
G 記 入 欄 メモ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③					
	1	紙	A 01	D A	5 m <sup>2</sup>	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	無	
	2				m <sup>2</sup>				
	3				m <sup>2</sup>				
	4				m <sup>2</sup>				
5				m <sup>2</sup>					
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。 持込み分 委託追加仕様書による 保管日時変更の場合4/27以外希望									

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	04	—	0344
				2020/4/15
調整後保管日時		2020年4月22日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年4月22日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙④	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/22 9:30	4 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カ テ ゴ リ	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
	B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
①	C	難 燃 物	11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
			01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
②	D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
			01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
③	状 態	D:乾燥, W:湿気有	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013705 - 0111

作業主管理	保管希望日時	2020年4月22日		(水)	9:00	承認	審査	作成		
	作業件名	1F-1~4号機 地下水ドレン集水設備点検手入工事(2020)								
	発生場所	サブドレン浄化建屋					2020/4/14	2020/4/14	2020/4/14	
	作業主管G	地下水対策設備グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
G記入欄	線量測定年月日	2020/4/13	測定者		測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-137	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	発泡スチロール	A	02	D	A	5 m <sup>3</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無
	2						m <sup>3</sup>			
メモ	注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	04	—	0346
				2020/4/15
調整後保管日時		2020年4月22日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年4月22日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	発泡スチロール ④	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアPI(屋外)	2020/4/22 9:00	4.1 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテ ゴリ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013705 - 0111

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年4月22日		(水)	10:00	承認	審査	作成		
	作業件名	1F-1~4号機 地下水ドレン集水設備点検手入工事(2020)								
	発生場所	サブドレン浄化建屋					2020/4/14	2020/4/14	2020/4/14	
	作業主管G	地下水対策設備グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2020/4/13	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-137	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
1	発泡スチロール	A	02	D	A	5 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
2						m <sup>2</sup>				
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	04	—	0347
				2020/4/15
調整後保管日時		2020年4月22日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年4月22日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	発泡スチロール ④	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/22 10:00	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6013705 - 0111

作業主管理	保管希望日時	2020年4月22日		(水)	10:30	承認	審査	作成	
	作業件名	1F-1~4号機 地下水ドレン集水設備点検手入工事(2020)							
	発生場所	サブドレン浄化建屋					2020/4/14	2020/4/14	2020/4/14
	作業主管G	地下水対策設備グループ			監理員	TEL			
	元請会社				担当者	TEL			
G記入欄	線量測定年月日	2020/4/13	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-137	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
		①	②	③					
	1	ビニール	A 02	D A	1 m	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
	2	段ボール	A 01	W A	1 m	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
メモ	3	可燃物その他	A 04	D A	1 m	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
	4	サニークロス	B 05	D A	1 m	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
	5	木材類	A 03	D A	1 m	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	04	—	0348
				2020/4/15
調整後保管日時		2020年4月22日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年4月22日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2		ICWBL	F1-ICWBL-163
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	④	ビニール	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/22 10:30	0.1 m			1
2	1	④	段ボール	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/22 10:30	1.4 m			1
3	1	④	可燃物その他	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/22 10:30	0.3 m			1
4	1	④	サニークロス	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/22 10:30	1 m			2
5	1	④	木材類	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/22 10:30	0.1 m			1

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ欄	
-----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013705 - 0111

作 業 主 管 メ モ	保管希望日時	2020年4月22日		(水)	11:00	承認	審査	作成	
	作業件名	1F-1~4号機 地下水ドレン集水設備点検手入工事(2020)							
	発生場所	サブドレン浄化建屋					2020/4/14	2020/4/14	2020/4/14
	作業主管G	地下水対策設備グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2020/4/13	測定者		測定器名	ICWBL	管理番号	F1-ICWBL-137	
記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率
		①	②	③					
	1	発泡スチロール	A 02	D A	2 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
	2	ビニール	A 02	D A	3 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
	3				m <sup>2</sup>				
	4				m <sup>2</sup>				
5				m <sup>2</sup>					
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。									

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	04	—	0349
				2020/4/15
調整後保管日時		2020年4月22日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年4月22日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-393	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	発泡スチロール ④	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/22 11:00	0.5 m <sup>2</sup>			1
	2	1	ビニール ④	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/22 11:00	3.2 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6012320 - 0001

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2020年4月21日		(火)	10:30	承認	審査	作成	
	作業件名	1F固体廃棄物貯蔵庫保管ドラム缶等移動・管理業務委託							
	発生場所	固体廃棄物貯蔵庫					2020/4/16	2020/4/16	2020/4/16
	作業主管G	固体廃棄物グループ			監理員		TEL		
	元請会社				担当者		TEL		
	線量測定年月日	2020/4/13	測定者		測定器名	ICW	管理番号	F1-ICW-097	
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ ・ $\alpha$ 汚染の有無
1	紙・ウエス類			A 01 D A	1 m <sup>2</sup>	0.5 $\mu$ Sv/h	40 $\mu$ Sv/h	無	
2	紙・ウエス類			A 01 W A	1 m <sup>2</sup>	0.5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	無	
3	プラスチック・ポリ・ビニール類			A 02 D A	2 m <sup>2</sup>	0.5 $\mu$ Sv/h	3 $\mu$ Sv/h	無	
4	可燃物その他			A 04 D A	1 m <sup>2</sup>	0.5 $\mu$ Sv/h	4 $\mu$ Sv/h	無	
5					m <sup>2</sup>				

注:  $\alpha$ 有、 $\beta$   $\alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	04	—	0369
				2020/4/16
調整後保管日時		2020年4月21日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年4月21日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-393	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	紙・ウエス類 ④	2 $\mu$ Sv/h	20 $\mu$ Sv/h			エリアP1(屋外)	2020/4/21 10:30	1 m <sup>2</sup>			1
2	1	紙・ウエス類 ④	2 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h			エリアP1(屋外)	2020/4/21 10:30	1 m <sup>2</sup>			1
3	1	プラスチック・ポリ・ビニール類 ④	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h			エリアP1(屋外)	2020/4/21 10:30	2 m <sup>2</sup>			1
4	1	可燃物その他 ④	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h			エリアP1(屋外)	2020/4/21 10:30	1 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ欄	
-----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2020年4月22日	(水)	8:30	承認	審査	作成			
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務								
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)			2020/4/16	2020/4/16	2020/4/16			
	作業主管G	総務グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2020/4/16	測定者		測定器名	F1-ICW	管理番号			
							396			
メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	ビニール	A	02	D	A	5 m <sup>2</sup>	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	無
	2						m <sup>2</sup>			
	3						m <sup>2</sup>			
	4						m <sup>2</sup>			
5						m <sup>2</sup>				
注: $\alpha$ 有、 $\beta$ $\alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。持込み分 委託追加仕様書による 保管日時変更の場合4/27以外希望										

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	04	—	0380
				2020/4/17
調整後保管日時		2020年4月22日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年4月22日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ビニール ④	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアPI(屋外)	2020/4/22 8:30	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2020年4月22日	(水)	10:30	承認	審査	作成	
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務						
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)			2020/4/16	2020/4/16	2020/4/16	
	作業主管G	総務グループ			監理員	TEL		
	元請会社				担当者	TEL		
	線量測定年月日	2020/4/16	測定者		測定器名	F1-ICW	管理番号	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	
		①	②	③			$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	
	1	A	02	D	A	5 m <sup>3</sup>	5 $\mu$ Sv/h	
	2					m <sup>3</sup>		
	3					m <sup>3</sup>		
	4					m <sup>3</sup>		
	5					m <sup>3</sup>		
メモ	注: $\alpha$ 有、 $\beta$ $\alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。持込み分 委託追加仕様書による 保管日時変更の場合4/27以外希望							

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	04	—	0381
				2020/4/17
調整後保管日時		2020年4月22日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年4月22日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-393	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ビニール ④	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアPI(屋外)	2020/4/22 10:30	2.9 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年4月23日	(木)	9:00	承認	審査	作成			
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務								
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)			2020/4/16	2020/4/16	2020/4/16			
	作業主管G	総務グループ	監理員		TEL					
	元請会社		担当者		TEL					
	線量測定年月日	2020/4/16	測定者		測定器名	F1-ICW	管理番号			
							396			
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
			①	②	③					
	1	わりばし	A	04	D	A	1 m	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	無
	2	衣類、カーテン	A	04	D	A	1 m	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	無
	3	ダンボール	A	01	D	A	3 m	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	無
	4						m			
	5						m			

注:  $\alpha$  有、 $\beta \alpha$  有の場合、 $\alpha$  線量情報をここに記載のこと。持込み分 委託追加仕様書による 保管日時変更の場合4/27以外希望

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	04	—	0382
				2020/4/17
調整後保管日時		2020年4月23日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年4月23日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	わりばし ④	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/23 9:00	0.9 m			1
	2	1	衣類、カーテン ④	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/23 9:00	0.9 m			1
	3	1	ダンボール ④	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/23 9:00	2.5 m			1
									m			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15	—
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
	③	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6010112 - 0001

作業 主 管 入 欄 メモ	保管希望日時	2020年4月23日		(木)	9:30	承認	審査	作成		
	作業件名	福島第一原子力発電所構内一般廃棄物処理他業務								
	発生場所	福島第一原子力発電所構内 No.5倉庫 (GM-19 北東)					2020/4/16	2020/4/16	2020/4/16	
	作業主管G	総務グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2020/4/16	測定者		測定器名	F1-ICW	管理番号	396		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
1	紙	A	01	D	A	4 m <sup>2</sup>	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	無	
2	ペットボトル	A	02	D	A	1 m <sup>2</sup>	5 $\mu$ Sv/h	5 $\mu$ Sv/h	無	
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。持込み分 委託追加仕様書による 保管日時変更の場合4/27以外希望										

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	04	—	0383
				2020/4/17
調整後保管日時		2020年4月23日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年4月23日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙④	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/23 9:30	3 m <sup>2</sup>			1
	2	1	ペットボトル④	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/23 9:30	1 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											
メモ欄												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0026

作業 主 管 入 欄 メモ	保管希望日時	2020年4月23日		(木)	8:30	承認	審査	作成		
	作業件名	Eエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	G1タンクエリア				2020/4/16	2020/4/16	2020/4/16		
	作業主管G	土木水対策設備グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2020/4/14	測定者		測定器名	ICW-BL	管理番号	1F-ICWBL-14		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	紙・ウエス類	A	01	W	B	1.5 m <sup>2</sup>	20 $\mu$ Sv/h	30 $\mu$ Sv/h	無
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	W	B	1.5 m <sup>2</sup>	20 $\mu$ Sv/h	30 $\mu$ Sv/h	無
	3	ゴム類	C	01	W	B	2 m <sup>2</sup>	20 $\mu$ Sv/h	30 $\mu$ Sv/h	無
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	04	—	0386
				2020/4/17
調整後保管日時		2020年4月23日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年4月23日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類 ④	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/23 8:30	0.9 m <sup>2</sup>			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類(→H) ④	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/23 8:30	0.1 m <sup>2</sup>			1
	2	2	プラスチック・ポリ・ビニール類 ④	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/23 8:30	0.7 m <sup>2</sup>			1
	3	1	ゴム類 ④	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/23 8:30	0.1 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ欄	
-----	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0026

作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2020年4月23日	(木)	9:30	承認	審査	作成			
	作業件名	Eエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	G1タンクエリア								
	作業主管G	土木水対策設備グループ	監理員		TEL					
	元請会社		担当者		TEL					
	線量測定年月日	2020/4/14	測定者		測定器名	ICW-BL	管理番号			
							1F-ICWBL-14			
G 記 入 欄 メモ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③						
	1	紙・ウエス類	A	01	W	B	1.5 m <sup>2</sup>	20 $\mu$ Sv/h	30 $\mu$ Sv/h	無
	2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	W	B	1.5 m <sup>2</sup>	20 $\mu$ Sv/h	30 $\mu$ Sv/h	無
	3	可燃物その他	A	04	W	B	2 m <sup>2</sup>	20 $\mu$ Sv/h	30 $\mu$ Sv/h	無
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	04	—	0387
				2020/4/17
調整後保管日時		2020年4月23日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年4月23日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類 ④	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/23 9:30	1.5 m <sup>2</sup>			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類 ④	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/23 9:30	1.5 m <sup>2</sup>			1
	3	1	可燃物その他 ④	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/23 9:30	1.1 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 8013803 - 0026

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年4月23日		(木)	10:30	承認	審査	作成			
	作業件名	Eエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事									
	発生場所	G1タンクエリア									
	作業主管G	土木水対策設備グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2020/4/14	測定者		測定器名	ICW-BL	管理番号	1F-ICWBL-14			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta - \alpha$ 汚染の有無			
		①	②	③				$\beta + \gamma$ 線量率			
	1	木材類(型枠材・パレット)	A	03	W	B	5 m <sup>2</sup>	20 $\mu$ Sv/h	30 $\mu$ Sv/h	無	
	2						m <sup>2</sup>				
	3						m <sup>2</sup>				
	4						m <sup>2</sup>				
	5						m <sup>2</sup>				
	注: $\alpha$ 有、 $\beta$ $\alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	04	—	0388
				2020/4/17
調整後保管日時		2020年4月23日		
		10:30		
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年4月23日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-393	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	木材類(型枠材・パレット) ④	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/23 10:30	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —			
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —			
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類			
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他			
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —			
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —			
				D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。  
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0026

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年4月24日		(金)	8:30		承認	審査	作成	
	作業件名	Eエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	H4エリア (GN-25北)					2020/4/17	2020/4/16	2020/4/16	
	作業主管G	土木水対策設備グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2020/4/6	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	T-ICWBL-04
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
1	可燃物その他	A	04	D	B	2 m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
2	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	B	3 m <sup>3</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無	
3						m <sup>3</sup>				
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 一般持ち込み										

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	04	—	0389
				2020/4/17
調整後保管日時		2020年4月24日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年4月24日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-393	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物その他 ④	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/24 8:30	4.8 m <sup>3</sup>			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類 ④	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/24 8:30	0.8 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ

モ

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメキ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0026

作業 主 管 欄	保管希望日時	2020年4月24日		(金)	9:30	承認	審査	作成		
	作業件名	Eエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	H4エリア (GN-25北)				2020/4/17	2020/4/16	2020/4/16		
	作業主管G	土木水対策設備グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
G 記 入 欄	線量測定年月日	2020/4/6	測定者			測定器名	ICWBL	管理番号	T-ICWBL-04	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
	1	紙・ウエス類	A	01	D	B	1 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	2	プラスチック・ポリビニール	A	02	D	B	3 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
メ モ	3	可燃物その他(草)	A	04	D	B	1 m <sup>2</sup>	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	無
	4					m <sup>2</sup>				
	5					m <sup>2</sup>				

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。  
一般持ち込み

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	04	—	0390
				2020/4/17
調整後保管日時		2020年4月24日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年4月24日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙・ウエス類 ④	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/24 9:30	0.1 m <sup>2</sup>			1
	2	1	プラスチック・ポリビニール ④	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/24 9:30	3.4 m <sup>2</sup>			1
	3	1	可燃物その他(草) ④	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/24 9:30	1 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持ち込みのこと。  
注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。  
注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013109 - 0002

作業 主 管 G 記 入 欄 メモ	保管希望日時	2020年4月23日		(木)	8:00	承認	審査	作成
	作業件名	メガフロート津波等リスク低減対策工事(本体)						
	発生場所	南防波堤				2020/4/17	2020/4/17	2020/4/17
	作業主管G	土木基盤設備グループ			監理員	TEL		
	元請会社				担当者	TEL		
	線量測定年月日	2020/4/9	測定者		測定器名	TCS-172		管理番号
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率
			①	②	③			$\beta + \gamma$ 線量率
	1	紙類	A	01	D	B	1 m <sup>3</sup>	3.7 $\mu$ Sv/h
	2	プラスチック	A	02	D	B	2 m <sup>3</sup>	3.7 $\mu$ Sv/h
	3	ロープ、土嚢袋	A	04	D	B	2 m <sup>3</sup>	3.7 $\mu$ Sv/h
	4						m <sup>3</sup>	
	5						m <sup>3</sup>	
	注: $\alpha$ 有、 $\beta$ $\alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。							

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	04	—	0398
				2020/4/17
調整後保管日時		2020年4月23日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年4月23日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-393	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄 メモ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	紙類 ④	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアPI(屋外)	2020/4/23 8:00	0.1 m <sup>3</sup>			1
	2	1	プラスチック ④	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアPI(屋外)	2020/4/23 8:00	1.7 m <sup>3</sup>			1
	3	1	ロープ、土嚢袋 ④	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアPI(屋外)	2020/4/23 8:00	5 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013109 - 0002

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年4月23日		(木)	11:00		承認	審査	作成											
	作業件名	メガフロート津波等リスク低減対策工事(本体)																		
	発生場所	南防波堤					2020/4/17	2020/4/17	2020/4/17											
	作業主管G	土木基盤設備グループ				監理員	TEL													
	元請会社					担当者	TEL													
	線量測定年月日	2020/4/9	測定者		測定器名	TCS-172	管理番号	F1-SC-073												
No.	保管物名	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ ・ $\alpha$ 汚染の有無	$\beta$ ・ $\gamma$ 線量率										
		①	②	③																
		1	難燃物その他	C	04						D	B	1	m	3.7	$\mu$ Sv/h	3.7	$\mu$ Sv/h	無	
		2	プラスチック	A	02						D	B	2	m	3.7	$\mu$ Sv/h	3.7	$\mu$ Sv/h	無	
		3	ロープ、土嚢袋	A	04						D	B	2	m	3.7	$\mu$ Sv/h	5.9	$\mu$ Sv/h	無	
		4											m							
5						m														

注:  $\alpha$  有、 $\beta$   $\alpha$  有の場合、 $\alpha$  線量情報をここに記載のこと。

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	04	—	0399
				2020/4/17
調整後保管日時		2020年4月23日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年4月23日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta$ ・ $\gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	難燃物その他 ④	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/23 11:00	0.1 m			1
	2	1	プラスチック ④	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/23 11:00	2.5 m			1
	3	1	ロープ、土嚢袋 ④	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/23 11:00	1.8 m			1
									m			
									m			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —	
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —	
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —	
				D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」; B:「工事のために持ち込まれた物」

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta$ ・ $\gamma$  線量率欄に「 $\beta$ ・ $\gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta$ ・ $\gamma$  線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013109 - 0002

主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年4月24日		(金)	8:00	承認	審査	作成		
	作業件名	メガフロート津波等リスク低減対策工事(本体)								
	発生場所	南防波堤				2020/4/17	2020/4/17	2020/4/17		
	作業主管G	土木基盤設備グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2020/4/9	測定者			測定器名	TCS-172	管理番号	FI-SC-073	
記 入 欄 メ モ	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③						
	1	ゴム類	C	01	D	B	1 m <sup>3</sup>	3.7 μSv/h	3.7 μSv/h	無
	2	FRP製品	C	04	D	B	3 m <sup>3</sup>	3.7 μSv/h	3.7 μSv/h	無
	3	ホース類	C	03	D	B	1 m <sup>3</sup>	3.7 μSv/h	3.7 μSv/h	無
	4						m <sup>3</sup>			
5						m <sup>3</sup>				
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	04	—	0400
				2020/4/17
調整後保管日時		2020年4月24日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年4月24日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2		ICWBL	F1-ICWBL-163
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	ゴム類④	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/24 8:00	0.3 m <sup>3</sup>			1
	2	1	FRP製品(→H)④	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/24 8:00	2 m <sup>3</sup>			1
	3	1	ホース類(→H)④	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/24 8:00	0.1 m <sup>3</sup>			2
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 8013109 - 0002

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年4月24日	(金)	10:00	承認	審査	作成													
	作業件名	メガフロート津波等リスク低減対策工事(本体)																		
	発生場所	南防波堤			2020/4/17	2020/4/17	2020/4/17													
	作業主管G	土木基盤設備グループ	監理員		TEL															
	元請会社		担当者		TEL															
	線量測定年月日	2020/4/9	測定者		測定器名	TCS-172	管理番号	F1-SC-073												
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率											
		①	②	③																
		1	紙類	A						01	D	B	1	m <sup>2</sup>	3.7	μSv/h	3.7	μSv/h	無	
		2	プラスチック	A						02	D	B	2	m <sup>2</sup>	3.7	μSv/h	3.7	μSv/h	無	
		3	ロープ、土嚢袋	A						04	D	B	2	m <sup>2</sup>	3.7	μSv/h	5.9	μSv/h	無	
		4																		
5																				
10注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。																				

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	04	—	0401
				2020/4/17
調整後保管日時		2020年4月24日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年4月24日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	2	1	プラスチック ④	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/24 10:00	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013109 - 0002

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2020年4月24日		(金)	11:00	承認	審査	作成		
	作業件名	メガフロート津波等リスク低減対策工事(本体)								
	発生場所	南防波堤					2020/4/17	2020/4/17	2020/4/17	
	作業主管G	土木基盤設備グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2020/4/9	測定者		測定器名	TCS-172	管理番号	F1-SC-073		
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
1	紙類	A	01	D	B	1 m <sup>2</sup>	3.7 μSv/h	3.7 μSv/h	無	
2	プラスチック	A	02	D	B	2 m <sup>2</sup>	3.7 μSv/h	3.7 μSv/h	無	
3	ロープ、土嚢袋	A	04	D	B	2 m <sup>2</sup>	3.7 μSv/h	5.8 μSv/h	無	
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	04	—	0402
				2020/4/17
調整後保管日時		2020年4月24日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年4月24日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	2	1	プラスチック④	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/24 11:00	0.4 m <sup>2</sup>			1
	3	1	ロープ、土嚢袋④	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/24 11:00	0.1 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —		
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15	—	
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013208 - 0005	
作 業 主 管 入 欄	保管希望日時	2020年4月24日		(金)	8:30		承認	審査	作成		
	作業件名	1/2号排気筒解体工事									
	発生場所	2号機西側ヤード						2020/4/17	2020/4/17	2020/4/17	
	作業主管G	2号構台設置PJグループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
G 記 入 欄	線量測定年月日	2020/3/25		測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-154
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③							
	1.	金属ガレキ	B	01	D	A	3 m <sup>2</sup>	0.03 mSv/h	0.03 mSv/h	無	
	2						m <sup>2</sup>				
3						m <sup>2</sup>					
4						m <sup>2</sup>					
5						m <sup>2</sup>					
メモ	注: $\alpha$ 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 $\alpha$ 線量情報をここに記載のこと。										

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	04	—	0407
				2020/4/20
調整後保管日時		2020年4月24日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年4月24日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
メ モ	1	1	金属ガレキ②	5	$\mu$ Sv/h	5	$\mu$ Sv/h			エリアP1(屋外)	2020/4/24 8:15	3 m <sup>2</sup>			1
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
												m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載															
メモ															

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
	②	C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	D	伐 採 木	状 態		D:乾燥, W:湿気有		③		履歴			
										A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:  $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。

注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015501 - 0110

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2020年4月23日		(木)	8:00	承認	審査	作成		
	作業件名	1F メガフロート水処理・除染他業務委託								
	発生場所	メガフロート					2020/4/18	2020/4/18	2020/4/17	
	作業主管G	1～6号機械設備グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2020/3/25	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-117		
	No.	保管物名	※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
1	難燃物その他(PE配管)	C	04	D	A	5 m <sup>2</sup>	10 $\mu$ Sv/h	10 $\mu$ Sv/h	無	
2						m <sup>2</sup>				
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				

注:  $\alpha$  有、 $\beta \alpha$  有の場合、 $\alpha$  線量情報をここに記載のこと。  
・フレコンバック収納

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	04	—	0408
				2020/4/20
調整後保管日時		2020年4月23日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年4月23日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-163	
2				
3				
4				

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	難燃物その他(PE配管) ④	2 $\mu$ Sv/h	2 $\mu$ Sv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/23 8:00	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: $\beta$  汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$  線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$  汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$  線量率の記載不要。  
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6015501 - 0110																																			
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2020年4月23日		(木)	8:30		承認	審査	作成																																			
	作業件名		1F メガフロート水処理・除染他業務委託																																										
	発生場所		メガフロート						2020/4/18	2020/4/18	2020/4/17																																		
	作業主管G		1~6号機械設備グループ				監理員	TEL																																					
	元請会社						担当者	TEL																																					
	線量測定年月日		2020/3/25		測定者		測定器名		管理番号																																				
							電離箱式サーベイメータ		F1-ICWBL-117																																				
	No.		※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率																																			
	1		係留ロープ			5 m		10 μSv/h		10 μSv/h																																			
2					m																																								
3					m																																								
4					m																																								
5					m																																								
注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 ・フレコンバック収納																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th>測定日</th> <th colspan="4">2020年4月23日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th colspan="2">管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICW</td> <td colspan="2">F1-ICW-393</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>											線量測定内容					測定日	2020年4月23日				測定No.	氏名	測定器	管理番号		1		ICW	F1-ICW-393		2					3					4				
線量測定内容																																													
測定日	2020年4月23日																																												
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																										
1		ICW	F1-ICW-393																																										
2																																													
3																																													
4																																													
保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所		保管日時		物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.																										
	1	1	係留ロープ ④		2 μSv/h		2 μSv/h				エリアP1(屋外)		2020/4/23 8:30		5 m				1																										
															m																														
															m																														
															m																														
															m																														
															m																														
	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																												
	メ																																												
	モ																																												
※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ホリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 -																																	
				06 -		07 -		08 -		10 -																																			
		B	不燃物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類																																	
				06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他																																	
				11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 石綿含有物(はつり屑等)		14 -		15 -																																	
		C	難燃物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 -																																	
				01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 -		04 -		05 -																																	
		D	伐採木	01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 -		04 -		05 -																																	
				01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 -		04 -		05 -																																	
		②		状 態		D:乾燥, W:湿気有		③		履 歴		A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」																																	
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)																																													
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。																																													
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。																																													
注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。																																													

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015501 - 0110

作業主管理	保管希望日時	2020年4月24日		(金)	8:30	承認	審査	作成		
	作業件名	1F メガフロート水処理・除染他業務委託								
	発生場所	メガフロート								
	作業主管G	1～6号機械設備グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
線量測定	線量測定年月日	2020/3/25	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-117		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無		
		①	②	③				β+γ 線量率		
	1	係留ロープ	A	04	D	A	5 m <sup>2</sup>	10 μSv/h	10 μSv/h	無
	2						m <sup>2</sup>			
入 欄	3					m <sup>2</sup>				
	4					m <sup>2</sup>				
	5					m <sup>2</sup>				
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 ・フレコンバック収納									

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	04	—	0410
				2020/4/20
調整後保管日時		2020年4月24日		8:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年4月24日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-393	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	係留ロープ④	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/24 8:30	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリ	A	可燃物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
			06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
	B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
②	C	難燃物	11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —
			01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
③	D	伐採木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
			01 状態	02 履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。  
 注6: コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015501 - 0110

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2020年4月24日		(金)	9:00	承認	審査	作成		
	作業件名	1F メガフロート水処理・除染他業務委託								
	発生場所	メガフロート					2020/4/18	2020/4/18	2020/4/17	
	作業主管G	1～6号機械設備グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
	線量測定年月日	2020/3/25	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-117		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率	
1	難燃物その他(PE配管)	C	04	D	A	3 m <sup>3</sup>	10 μSv/h	10 μSv/h	無	
2	可燃物その他	A	04	D	A	2 m <sup>3</sup>	10 μSv/h	10 μSv/h	無	
3						m <sup>3</sup>				
4						m <sup>3</sup>				
5						m <sup>3</sup>				

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。  
・フレコンバック収納

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	04	—	0411
				2020/4/20
調整後保管日時		2020年4月24日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年4月24日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-393	
2		ICWBL	F1-ICWBL-163	
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	難燃物その他(PE配管) ④	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/24 9:00	3 m <sup>3</sup>			2
	2	1	可燃物その他 ④	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/24 9:00	2 m <sup>3</sup>			1
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			
									m <sup>3</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
②	B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類	
			06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他	
			11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 石綿含有物(はつり屑等)	14 —	15 —	
③	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —	
			01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —	
④	D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —	
			01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —	
⑤	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。



# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015501 - 0110

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2020年4月24日		(金)	10:00	承認	審査	作成			
	作業件名	1F メガフロート水処理・除染他業務委託									
	発生場所	メガフロート				2020/4/18	2020/4/18	2020/4/17			
	作業主管G	1～6号機械設備グループ			監理員	TEL					
	元請会社				担当者	TEL					
	線量測定年月日	2020/3/25	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-117			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無			
		①	②	③				β + γ 線量率			
	1	係留ロープ	A	04	D	A	5 m	10 μSv/h	10 μSv/h	無	
	2						m				
	3						m				
	4						m				
	5						m				

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。  
・フレコンバック収納

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	04	—	0412
				2020/4/20
調整後保管日時		2020年4月24日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年4月24日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-393	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	係留ロープ④	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/24 10:00	5 m			1
									m			
									m			
									m			
									m			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ欄

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6015501 - 0110

作業主管理	保管希望日時	2020年4月24日		(金)	10:30		承認	審査	作成	
	作業件名	1F メガフロート水処理・除染他業務委託								
	発生場所	メガフロート						2020/4/18	2020/4/18	
	作業主管G	1～6号機械設備グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
G	線量測定年月日	2020/3/25	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメータ	管理番号	F1-ICWBL-117		
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無		
		①	②	③				β+γ 線量率		
	1	係留ロープ	A	04	D	A	5 m <sup>2</sup>	10 μSv/h	10 μSv/h	無
	2						m <sup>2</sup>			
入	3					m <sup>2</sup>				
	4					m <sup>2</sup>				
	5					m <sup>2</sup>				
メモ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 ・フレコンバック収納									

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	04	—	0413
				2020/4/20
調整後保管日時		2020年4月24日		10:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年4月24日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-393
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	係留ロープ④	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/24 10:30	5 m <sup>2</sup>			1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013707 - 0120

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年4月24日		(金)	9:00		承認	審査	作成				
	作業件名	RO1/2撤去(仮称)											
	発生場所	RO3ジャバラテント周辺											
	作業主管G	処理設備グループ				監理員	TEL						
	元請会社					担当者	TEL						
	線量測定年月日	2020/4/6	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-38			
	No.	保管物名				※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
1	難燃物その他				C	04	W	B	2 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
2	ゴム類				C	01	W	B	2 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
3	塩化ビニール類				B	05	W	B	1 m <sup>2</sup>	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
4									m <sup>2</sup>				
5									m <sup>2</sup>				

注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
廃2020	—	04	—	0414
				2020/4/21
調整後保管日時		2020年4月24日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年4月24日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-393	
2		ICWBL	F1-ICWBL-163	
3				
4				

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	難燃物その他 ④	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/24 9:00	1 m <sup>2</sup>			1
	1	2	難燃物その他(→H) ④	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/24 9:00	1 m <sup>2</sup>			2
	2	1	ゴム類 ④	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/24 9:00	2.5 m <sup>2</sup>			1
	3	1	塩化ビニール類 ④	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアP1(屋外)	2020/4/24 9:00	0.1 m <sup>2</sup>			2

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②、	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0092

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2020年4月20日		(月)	11:00	承認	審査	作成		
	作業件名	タンクの減容保管委託(2020)								
	発生場所	定検機材倉庫A棟					2020/4/20	2020/4/20	2020/4/20	
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員	TEL				
	元請会社				担当者	TEL				
	線量測定年月日	2020/4/20	測定者		測定器名	F1-ICW,ICWBH	管理番号	198,18		
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	フランジタンク片 側板 (180135)	B	11	D	A	21 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無
2						m <sup>2</sup>				
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
メモ	線量率測定者・測定方法は放射線管理員・放射線管理仕様書に基づき選定・実施した。 20ftコンテナに詰込み、保管致します。⇒AAエリアへ保管									

固体廃棄物G記入欄				受付
受付番号				
高2020	—	04	—	0044
調整後保管日時				2020年4月20日 11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年4月20日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フランジタンク片 側板 (180135)	1 $\mu$ Sv/h	1 $\mu$ Sv/h	1 $\mu$ Sv/h	エリアAA	2020/4/20 10:50	21 m <sup>2</sup>		180135	1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo.を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0092

作業主管理	保管希望日時	2020年4月21日		(火)	11:00	承認	審査	作成		
	作業件名	タンクの減容保管委託(2020)								
	発生場所	定検機材倉庫A棟					2020/4/21	2020/4/21	2020/4/21	
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL			
	元請会社				担当者		TEL			
線量測定	線量測定年月日	2020/4/21		測定者		測定器名	F1-ICW.ICWBH			
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	フランジタンク片 天板 (180108)	B	11	D	A	21 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
2						m <sup>2</sup>				
3						m <sup>2</sup>				
4						m <sup>2</sup>				
5						m <sup>2</sup>				
メモ	線量率測定者・測定方法は放射線管理員・放射線管理仕様書に基づき選定・実施した。 20ftコンテナに詰込み、保管致します。⇒AAエリアへ保管									

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2020	—	04	—	0045
				2020/4/21
調整後保管日時		2020年4月21日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年4月21日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フランジタンク片 天板 (180108)	1 $\mu$ Sv/h	1 $\mu$ Sv/h	1 $\mu$ Sv/h	エリアAA	2020/4/21 10:40	21 m <sup>2</sup>		180108	1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ	
----	--

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 8013708 - 0092

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2020年4月23日		(木)	11:00		承認	審査	作成	
	作業件名	タンクの減容保管委託(2020)								
	発生場所	定検機材倉庫A棟						2020/4/23	2020/4/23	2020/4/23
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員		TEL		
	元請会社					担当者		TEL		
	線量測定年月日	2020/4/23		測定者		測定器名	F1-ICW,ICWBH		管理番号	198,18
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
	1	フランジタンク片 側板 (180120)			B 11 D A	21 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
	2					m <sup>2</sup>				
	3					m <sup>2</sup>				
4					m <sup>2</sup>					
5					m <sup>2</sup>					
メ モ	線量率測定者・測定方法は放射線管理員・放射線管理仕様書に基づき選定・実施した。 20ftコンテナに詰込み、保管致します。⇒AAエリア									

固体廃棄物G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2020	—	04	—	0047
調整後保管日時				2020年4月23日 11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2020年4月23日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-6	
2				
3				
4				

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フランジタンク片 側板 (180120)	1 $\mu$ Sv/h	1 $\mu$ Sv/h	1 $\mu$ Sv/h	エリアAA	2020/4/23 11:20	21 m <sup>2</sup>		180120	1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ モ	
--------	--

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)  
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。  
 注5: $\beta$ 汚染有の場合、表面線量率欄には「 $\gamma$ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 $\beta$ 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。  
 注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。

# 瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 8013708 - 0092

作業 主 管 欄 入 メ モ	保管希望日時	2020年4月24日		(金)	11:00		承認	審査	作成	
	作業件名	タンクの減容保管委託(2020)								
	発生場所	定検機材倉庫A棟						2020/4/24	2020/4/24	
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL			
	元請会社					担当者	TEL			
	線量測定年月日	2020/4/24	測定者		測定器名	F1-ICW,ICWBH	管理番号	198,18		
	No.	保管物名			※カテゴリ	物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
	1	フランジタンク片 天板 (180125)			B 11 D A	21 m <sup>2</sup>	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
2					m <sup>2</sup>					
3					m <sup>2</sup>					
4					m <sup>2</sup>					
5					m <sup>2</sup>					
線量率測定者・測定方法は放射線管理員・放射線管理仕様書に基づき選定・実施した。 20ftコンテナに詰込み、保管致します。⇒AAエリアへ保管										

固体廃棄物G記入欄				受付
受付番号				
高2020	—	04	—	0048
				2020/4/24
調整後保管日時		2020年4月24日		11:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2020年4月24日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-6
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フランジタンク片 天板 (180125)	1 μSv/h	1 μSv/h	1 μSv/h	エリアAA	2020/4/24 10:40	21 m <sup>2</sup>		180125	1
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			
									m <sup>2</sup>			

\*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ  
モ

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	石綿含有物(はつり屑等)	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

注6:コンテナで持ち込む場合は、保管物名欄またはメモ欄にコンテナNo. を記載すること。